

令和3年度 長野市地域包括支援センター運営協議会 報告書

日 時	令和3年11月11日（木） 午後1時30分～2時30分
会 場	長野市役所第1庁舎7階 第1委員会室
出席者	委員15人（欠席 藤沢委員） 事務局10人 地域包括支援センター代表4人 傍聴者2名
次 第	<p>1 開 会 地域包括ケア推進課 森澤補佐</p> <p>2 あいさつ 小山会長 中澤保健福祉部長</p> <p>3 協議事項</p> <p>（1）新たに設置をする地域包括支援センターの委託法人を公募する地域について 説明：地域包括ケア推進課 森澤補佐（資料1）（資料2）</p> <p>（2）介護予防支援業務の指定居宅介護支援事業所への委託について 説明：地域包括ケア推進課 森澤補佐（資料3）</p> <p>（3）その他</p> <p>・令和2年度地域包括支援センター自己評価結果の全国平均値について 説明：地域包括ケア推進課 森澤補佐（資料4）（資料5）</p> <p>4 長野市ケア会議 中部地域包括支援センター（資料6）（資料7）</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉 会 地域包括ケア推進課 森澤補佐</p>
質 疑 応 答 要 旨	
委 員 事 務 局	<p>協議事項</p> <p>（1）新たに設置をする地域包括支援センターの委託法人を公募する地域について （資料1）（資料2）</p> <p>委託料について、新たなセンターができたことで、現在あるセンターの委託料が減ることはないか。</p> <p>新たなセンター分の委託料の予算を増額予定であり、現在あるセンターの委託料が減ることはない。</p> <p>承認</p> <p>（2）介護予防支援業務の指定居宅介護支援事業所への委託について（資料3）</p> <p>承認</p> <p>（3）その他</p> <p>令和2年度地域包括支援センター自己評価結果の全国平均値について （資料4）（資料5）</p>

委員	医療関係者と包括支援センターとのかかわりが希薄であるということが全国平均と比べることでわかる。医師として何か協力できればと思うが、何が必要か調査していただきたい。
事務局	長野市内は医師会も多く分かれており病院も多くあるので、それぞれの地区に合わせた医療連携が必要であると思う。地区ごとの医療連携の現状含めて、どうすべきか次回までに報告したい。
委員	自分の所属している病院では、年に1回、地域のケアマネジャーや包括支援センターを集めて勉強会を行っている。知識の共有を図ることで、連携しやすくなっている。
委員	ケアマネジメント業務について、包括支援センターから居宅介護支援事業所へ委託する際のプラン数等について市の方で指標を示しているか。
事務局	市で指標は示しておらず、それぞれの包括支援センターごとの判断で委託している。
会長	ケア会議に関することについて、全国平均より長野市はできていないようだが、これは包括支援センターの職員次第で改善できるものだと思うが、実際はどうか。
事務局	この数値以上に包括支援センターはできているように感じるので、もしかしたら回答者が質問の意図を勘違いしている可能性があるかもしれない。
会長	他の質問を見ても恐らくその可能性がありそうなので、次回からは回答内容の精査もしていただきたい。
委員	包括支援センターと医療機関との意見交換の場が少ないということについて、医師の立場として、包括支援センターやケアマネジャーから相談を受けることなど特にない。現状について、どのように考えているか。
委託包括支援センター	医療機関から声をかけていただいて、意見交換会に参加することはある。 また、地域の診療所などの小さな医療機関の医師との連携は取れているが、総合病院などの大きな医療機関とは、連携の窓口がないことから連携が難しい。連携の窓口のある医療機関とは積極的に連携していきたいと思う、
委託包括支援センター	医療連携が大切だということは承知しているが、連携の窓口のある総合病院についてはケースワーカー等と話ができるため連携しやすいが、連携の窓口のない総合病院については、電話をするにも忙しいのではないかなど不安な点も多く連携できていない。
委託包括支援センター	医療機関からの声をかけていただき、事例検討会などに参加しており、それをきっかけに段々と連携を取れてきているように思う。

委 員	長野市として、医療と介護の連携について体制を整えるべきではないか。
事 務 局	長野市の医療と介護の連携体制については、長野市民病院と南長野医療センター篠ノ井総合病院に長野市在宅医療・介護連携支援センターの運営を委託している。地域の医療・介護関係者の顔が見える関係づくりを目的として、年に1、2回ほど南北2か所に分かれて研修会を開催していたが、コロナ禍になり昨年度は開催できていない。オンライン開催等の体制を整えるなど、これからどうすべきか検討しつつ、また研修会を開催できるよう進めている。
会 長	有事の際にいかに連携できるかが重要であると思う。是非、オンライン開催の体制を整えて、次の時代に乗り遅れないよう、積極的に取り組んでいただきたい。
	長野市ケア会議 (資料6) (資料7)
	報告事項 中部地域包括支援センター地域ネットワーク会議から提起された地域課題 「介護保険料未納により給付制限を受けるケースへの早期対応について」 (令和3年5月20日議題提出)
	承認
	協議事項 中部地域包括支援センター地域ネットワーク会議から提起された地域課題 「中山間地域での介護保険サービス（訪問入浴介護）の供給不足について」
会 長	事業所の撤退の理由は何か。訪問入浴介護のニーズはどのくらいあるのか。
事 務 局	現在調査中である。次回報告したい。
委 員	難しい問題であると思う。市の方で具体的に試案していることはあるか。
事 務 局	一案として考えているのは、現状の介護保険では、市街地と中山間地を同じ金額で事業所に対応をしていただいているが、中山間地に提供する際は交通費を含め補助を出す方法を考えている。
	その他
事 務 局	次回の会議について、令和4年2月を予定 以上で議事をすべて終了する。